

令和2年度 GIS 基礎技術研究会の実績報告

令和2年度のGIS基礎技術研究会は講演を5回、実習を8回開催し、法人会員が17社50名、個人会員が59名、特別会員が3団体9名の参加を得ております。講演では、新型コロナウイルスへの対応として現地講演とインターネット経由のリアルタイム配信を組み合わせたハイブリッド形式によりGISの最先端におられる専門家・技術者の講演や実務レベルの事例発表を行い、常時約70名の会員が熱心に参加して、積極的な意見交換、討議が行われました。実習では、最新の技術を盛り込んで独自に作成したGIS教育教材を用いて、39名が初心者コースと応用コースに分かれて受講しました。

令和3年度は、依然として猛威を振るう新型コロナウイルスへの対策をより徹底するとともに、これまでの研究会の実績に加え、九州内のGIS関連団体との積極的な連携を図ります。また、「新しい生活様式」を念頭に置いた新たな取り組みを加えながら、コロナ禍における活動のクオリティ維持と向上を図るとともに、会員の皆様のGISの基礎・応用技術や知識の更なる効果的な習得のための活動を行う予定です。

回	開催日	講演・事例報告タイトル	講師	実習
第1回	R2.8.22	GIS, ICT, BIM/CIMの活用などi-Constructionの更なる普及と「令和2年7月豪雨」の災害対応について	国土交通省 九州地方整備局 企画部長 堂園 俊多 氏	初級：ArcMapの基本操作（1） 応用：ジオデータベース
第2回	R2.8.29	実習のみ開催		初級：ArcMapの基本操作（2） 応用：トポロジ
第3回	R2.9.19	災害対応における地理空間情報の利活用 ～平成29年7月九州北部豪雨災害を例に～	九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授 三谷 泰浩 氏	初級：空間データの利用 応用：ジオプロセッシングと解析ツールボックス
第4回	R2.9.26	実習のみ開催		初級：GISデータの作成・編集 応用：ラスタ解析
第5回	R2.10.17	スマート農業関連サービスの今後の展開方向について	NECソリューションイノベータ株式会社 イノベーション推進本部 事業開発第二グループ 九州支社第三グループ 中浦 秀晃 氏	初級：基盤地図・画像データの利用、空間分析 応用：画像解析
		林業の成長産業化に向けた取組におけるGISの利活用	糸島市 池田 将信 氏	
第6回	R2.10.24	実習のみ開催		初級：空間分析 応用：ネットワーク解析
第7回	R2.11.21	「都道府県別新型コロナウイルス感染者数マップ」の公開にみるGISの利活用	ジャグジャパン株式会社 代表取締役社長 大濱崎 卓真 氏	初級：3D Analyst 応用：水理解析
第8回	R2.11.28	実習のみ開催		初級：総合演習 応用：Model BuilderとArcGIS Proの基本操作
GIS DAY in 九州	R2.12.12	地理空間情報と「新しい生活様式」をテーマとして、空間疫学の観点から地理空間情報技術を活用して都市活動・日常生活を考える具体的な事例を紹介するとともに、これらの基盤となる地理空間情報の整備・活用促進に向けた我が国の最新動向・取組について紹介し、現地およびWeb参加を合わせて計83名の参加を得ました。		

令和2年度実習指導者

三谷 泰浩	九州大学	教授
谷口 寿俊	九州大学	助教
本田 博之	九州大学	助教
佐藤 辰郎	九州大学	特任准教授
川野 浩平	九州大学	特任助教
佐藤 雄斗	九州大学	技術職員
田 露	九州大学	博士3年
田淵 太雅	九州大学	修士2年
舟津 薫輝	九州大学	修士2年
村岡 龍	九州大学	修士2年
山口 太陽	九州大学	修士2年
Aleem	九州大学	修士2年
池崎 大智	九州大学	修士1年
菅原 巧	九州大学	修士1年
成清 哲平	九州大学	修士1年
蘇 栄	九州大学	修士1年

令和2年度幹事

三谷 泰浩	九州大学 教授（代表）
池見 洋明	日本文理大学 准教授
瀧口 晃	西日本技術開発(株) 施設開発部 部長代理
渡部 康祐	日本工営(株) 福岡支店 基盤技術部 次長
藤田 成	大成ジオテック(株) 福岡支店長
松田 欣也	直方市 上下水道・環境部 下水道課 課長
上田 圭	福岡県土地改良事業団体連合会 総務部 情報管理課 係長
藤春 兼久	ESRI ジャパン(株) ソリューション営業グループ 部長
進 啓俊	国際航業(株) 九州支社 企画グループ長
東 克徳	西日本高速道路エンジニアリング九州(株) 技術開発課 課長
上田 正博	(株)パスコ 九州事業部 事業推進室 室長
谷口 寿俊	九州大学 助教（事務局長）